

## 2015年11月実績概要（メモ）

（2015.12.17）

主要石化製品の生産は、合成樹脂、合成ゴムで前年を上回る生産が続く。

### 1. 生産動向

イ) エチレン 583,200トン

前月比                   ▲ 0.8% (▲ 4,700トン)  
前年同月比           ▲ 0.9% (▲ 5,300トン)

生産増減に係る諸要因	<前月比>	<前年同月比>
日数増減	▲ 3.2%	—
定修要因等	—	+ 3.1%
能力増減	—	▲ 4.7%
稼働率変動	+ 2.4%	+ 0.7%
生産増減率	▲ 0.8%	▲ 0.9%

稼働プラントの実質稼働率試算：前月93.0%→当月95.3%←前年同月94.7%

定修プラント：前月なし→当月なし←前年同月なし

2015年1～11月累計生産量 6,271.1千ト。前年同期比+4.2%

ロ) 主な石油化学製品

前月比では、日数の減少からHD、PP、EO、EG、AN、SBR、BRなどの11品目がマイナスとなった。LD、PS、塩ビモノマー、ベンゼン、キシレンなどの6品目は主に定修規模差からプラスとなった。

前年比では、稼働率要因や定修規模差等からLD、HD、PP、PS、塩ビ樹脂、塩ビモノマー、SBR、BRなどの10品目でプラス。SM、EG、AN、ベンゼン、トルエン、キシレンなどの7品目はマイナスとなった。

### 2. 樹脂の生産・出荷状況（LD、HD、PP、PS）

イ) 生産

前月比では、日数減があったが、LD、PSは定修規模差や稼働率要因からプラス。HD、PPは日数減と稼働率要因からマイナスとなった。

前年比では、主に稼働率要因からLD、HD、PP、PSの4樹脂揃ってプラスとなった。

ロ) 国内出荷

前月比では、円安等による輸入品の減少傾向が続いているものの、当月は営業日数が減少したことからLD、HD、PSでマイナス、PPのみが僅かに増加しプラスとなった。

前年比では、前年は原料を巡る急速な環境変化から製品の先安感が広まり、出荷が停滞することとなった。このため、当年は4樹脂のほぼ全出荷分野で前年を上回り、前月に続いて4樹脂揃ってプラスとなった。

ハ) 輸出

前月比では、国内向けの出荷が比較的堅調であったこともあり、4樹脂ともマイナスとなった。

前年比ではLD、PSはプラスとなったが、HDはマイナスとなっている。

ニ) 在庫

在庫量は、LD、HD、PP、PSで増加した。在庫率(季節調整済)は前月に対してLD、HD、PSで上昇し、PPは横ばいとなった。在庫水準としては、LD、HD、PPはやや高め、PSはほぼ適正水準となっている。

	前月対比増減量 (単位:トン)	季節調整済在庫率 (単位:ヶ月)	
		10月末	11月末
LD	+ 6,000	2.7	2.8
HD	+ 5,100	2.6	2.8
PP	+ 4,200	2.7	2.7
PS	+ 1,900	1.2	1.3

以上